

令和8年度 日本獣医公衆衛生学会（北海道）

第1日目（8月27日） 第4会場（C1号館 301）

9:20~10:00

座長：大野 祐太（道衛研）

- 公-1 北海道内家畜・野生動物における重症熱性血小板減少症候群ウイルス（SFTSV）抗体調査…………… 87
 ○三島成結¹⁾ 石坂恵梨佳¹⁾ 中村アバシ伊沙¹⁾ 藤森 撰¹⁾ 山本寛大¹⁾ 佐藤喜和²⁾ 立本完吾¹⁾
 前田 健³⁾ 内田玲麻¹⁾ 大道寺 智¹⁾ 萩原克郎¹⁾
 （¹⁾酪農大感染・病理学 ²⁾酪農大野生動物生態学 ³⁾国立感染症研究所）
- 公-2 野生動物寄生マダニにおけるマダニ媒介性細菌の保有状況の解析…………… 87
 ○瀬底正大¹⁾ 山本寛大¹⁾ 藤森 撰¹⁾ 相原海生¹⁾ 石坂恵梨佳¹⁾ 中村アバシ伊沙¹⁾ 伊藤哲治²⁾
 佐藤喜和³⁾ 萩原 克郎¹⁾ 大道寺 智¹⁾
 （¹⁾酪農大感染・病理学 ²⁾酪農大野生鳥獣管理学 ³⁾酪農大野生動物生態学）
- 公-3 空知総合振興局南部の町域で捕獲されたアライグマからの非定型抗酸菌検出とその分布状況…………… 88
 ○関山美森¹⁾ 石川茅人¹⁾ 丹羽萌々子¹⁾ 井手翔生¹⁾ 星井 萌¹⁾ 岡本 実²⁾ 鈴木一由²⁾
 村松康和¹⁾ 内田玲麻¹⁾ （¹⁾酪農大予防獣医学 ²⁾酪農大感染・病理学）
- 公-4 空知総合振興局南部の町域で捕獲されたアライグマにおけるレプトスピラ保有状況に関する
 分子疫学調査…………… 88
 ○丹羽萌々子¹⁾ 井手翔生¹⁾ 星井 萌¹⁾ 関山美森¹⁾ 石川茅人¹⁾ 岡本 実²⁾ 鈴木一由²⁾
 内田玲麻¹⁾ 村松康和¹⁾ （¹⁾酪農大予防獣医学 ²⁾酪農大感染・病理学）

10:00~10:20

座長：渡辺 有希子（猛禽類医学研究所）

- 公-5 フンボルトペンギンのアミロイド沈着を伴う大動脈弁肥厚が認められた左心肥大の1例…………… 89
 ○酒寄汐音¹⁾ 華園 究²⁾ 岡本圭介³⁾ 角川雅俊³⁾ 大塚まりな¹⁾ 神谷可菜¹⁾ 池田恵子¹⁾
 平田晴之¹⁾ 鈴木一由¹⁾ 岡本 実^{1,4)}
 （¹⁾酪農大感染・病理学 ²⁾酪農大伴侶動物医療学 ³⁾おたる水族館 ⁴⁾酪農大附属動物医療センター）
- 公-6 メガネモチノウオの心転移が認められた甲状腺濾胞細胞癌の1例…………… 89
 ○曾我亜加莉¹⁾ 岡本圭介²⁾ 角川雅俊²⁾ 大塚まりな¹⁾ 神谷可菜¹⁾ 池田恵子¹⁾ 平田晴之¹⁾
 鈴木一由¹⁾ 岡本 実^{1,3)}
 （¹⁾酪農大感染・病理学 ²⁾おたる水族館 ³⁾酪農大附属動物医療センター）

10:30~11:10

座長：佐々木 貴正（帯畜大）

- 公-7 傷病収容データから見える高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の新たな局面：
 2025~2026年シーズンの分析…………… 90
 ○渡辺有希子¹⁾ 安達 光¹⁾ 日尾野隆大^{2,3)} 直 亨則³⁾ 磯田典和^{2,3)} 迫田義博^{2,3)} 大沼 学⁴⁾
 齊藤慶輔¹⁾
 （¹⁾猛禽類医学研究所 ²⁾北大One Health リサーチセンター ³⁾北大微生物学 ⁴⁾国立環境研究所）
- 公-8 いわゆる和製漢語“保全医学”を公共知とする試み…………… 90
 ○浅川満彦¹⁾ 村田浩一²⁾ （¹⁾酪農大名誉教授 ²⁾よこはま動物園ズーラシア）
- 公-9 市販国産魚からの *Photobacterium damsela* subsp. *damsela* の分離と薬剤感受性の実態調査…………… 91
 ○西川真央¹⁾ 福田 昭¹⁾ 浅井鉄夫²⁾ 白井 優¹⁾ （¹⁾酪農大予防獣医学 ²⁾岐阜大院連合獣医学）
- 公-10 市販冷凍輸入エビの薬剤耐性菌を含む細菌汚染実態の解明…………… 91
 ○落合勇斗 福田 昭 白井 優 （酪農大予防獣医学）

11:10~11:40

座長：村松 康和（酪農大）

- 公-11 と畜場に搬入された豚における *Escherichia albertii* の保有状況 92
 ○西野胡桃¹⁾ 落合崇浩²⁾ 佐藤 凜²⁾ 美名口 希³⁾ 帆先隆弘⁴⁾ 坂本寛之¹⁾ 小藤昭雄¹⁾
 佐々木泰彦¹⁾ 刈屋達也¹⁾ (¹⁾八雲食肉衛検 ²⁾道衛研 ³⁾日高食肉衛検 ⁴⁾元八雲食肉衛検)
- 公-12 と畜場搬入豚における筋および骨髄瘍の原因菌調査について 92
 ○大原早帆¹⁾ 古崎洋司¹⁾ 落合崇浩²⁾ 高橋 諒²⁾ 大久保和洋²⁾ 大野祐太²⁾
 (¹⁾日高食肉衛検 ²⁾道衛研)
- 公-13 鶏肉フードチェーンのサルモネラ汚染状況 93
 ○佐々木貴正 鎌田佳叶乃 佐々木瑞希 (帯畜大基礎獣医学)